



殺菌剤

ミキワ[®]20

フロアブル

キノプロール
KINOPROL[®]
ACTIVE INGREDIENT

ミキワ
晩腐病を水際で
ブロック!



特長

新規作用機構
(殺菌剤分類52、DHODH阻害)
で既存剤の耐性菌にも有効です。

広い殺菌スペクトラムを有し、
ぶどうの晩腐病等に高い効果を
示します。

予防効果主体の殺菌剤です。
浸透移行性も示します。

キノプロール KINOPROL[®] の作用点

KINOPROL[®]はRNAを構成するピリミジン塩基のde novo 生合成系のうち、ジヒドロオロト酸をオロト酸に変換するジヒドロオロト酸デヒドロゲナーゼ(DHODH)を阻害すると推測しています。

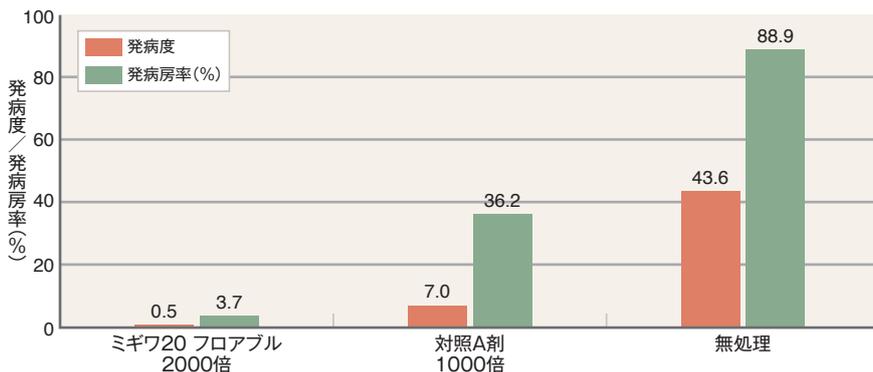
DHODHを阻害された植物病原菌は植物体への侵入と定着に支障をきたし、一連の感染行動が抑えられます。

適用病害の範囲及び使用方法(抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イブフルフェノキンを含む農薬の総使用回数
ぶどう	晩腐病	2000~4000倍	200~700ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
	灰色かび病 褐斑病 黒とう病	2000倍					

試験事例

晩腐病効果試験



2014年
(一社)日本植物防疫協会山梨試験場
発生状況：甚発生
品種：巨峰(24年生)
規模：1区約6㎡(2.5m×2.5m、3反復)
散布：6月25日、7月3日、14日
調査：8月27日(全果房)

作物に対する安全性

- シャインマスカット、ピオーネに対し「催芽期」~「果実肥大期(大豆大期)」の各ステージで散布して葉(芽)、果実への薬害は認められませんでした(2000倍)。
- 巨峰、マスカットベリー A、キャンベルアーリーに対し「開花直前」~「大豆大期」の各ステージで散布して葉(芽)、果実への薬害は認められませんでした(2000倍)。

果粉溶脱が少ない開花期~小豆大期での
使用がおすすめです!

(※大豆大以降は果粉溶脱のおそれがあるので使用に注意してください)

使用上の注意事項(抜粋)

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いぎってください。
- 使用前によく振ってから使用してください。
- 散布量は、対象作物の生育段階及び栽培形態に合わせて調整してください。
- 過度の連用をさけ、なるべく作用機構の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- ぶどうに使用する場合、果実肥大中期(大豆大)以降の散布は果粉の溶脱を生じるおそれがあるので注意してください。
- 蚕に対して影響を及ぼすので、養蚕で使用する桑葉にかからないようにしてください。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 保管：直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届くところには置かないでください。

この資料は2023年10月現在の情報に基づいて作成しています。

